

## 伊藤駐ニュージーランド大使によるクライストチャーチ地震追悼行事出席

日本人28名を含む185名が犠牲となったクライストチャーチ地震から13年となる2024年2月22日、遺族会とクライストチャーチ市による追悼行事が同市内で行われました。行事には、メジャー・クライストチャーチ市長とともに、伊藤駐ニュージーランド大使が出席しました。

22日の朝に行われた「遺族のための追悼式典」がエイボンヘッド公園メモリアル墓地において行われ、ご遺族や両国の支援者、メジャー市長、伊藤大使らが出席し、祈りをささげ、献花を行いました。

22日の昼過ぎには、市内の国立追悼施設において「市民追悼式典」が行われ、黙祷が行われた後、ご遺族、ラクソン首相、議員、市長、伊藤大使らが185名の名前が刻まれた国立追悼施設内の壁の前で献花を行いました。ラクソン首相は、日本とNZは特別な関係にあり、このような追悼行事に遠く日本からご家族がいらっしゃることは素晴らしいことであるとご遺族に声をかけられました。

両式典では、犠牲となった185名の名前が一人一人読み上げられ、ニュージーランド海軍哨戒艦「カンタベリー」の鐘が鳴らされました。

伊藤大使は式典に先立つ21日に、日本人28名が犠牲となったCTVビルの跡地を訪れ献花をし、その後行われたキャンドルナイト集会で祈りを捧げました。

伊藤大使は、今回のクライストチャーチ訪問を通じて、この地震で犠牲となった方々が生前に抱いていた夢や希望に思いを寄せ、また、このような悲劇に見舞われたご遺族の悲しみを今後も決して忘れることなく、この記憶を後生に伝えていくとの決意を新たにしました。

### 【伊藤大使のクライストチャーチ訪問の様子】



CTVビルの跡地での献花



献花へ向かうラクソン首相と大使



国立追悼施設での献花

(お問い合わせ先)

在ニュージーランド日本国大使館

代表電話：+64-4-473-1540

メール：[consular@wl.mofa.go.jp](mailto:consular@wl.mofa.go.jp)

(担当：田口)